

令和3年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所：PARKさくら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練教室に加えて廊下スペースも活動場所として活用できるため十分な確保が出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の職員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーターや手すりもあり、車いすの方の利用も利用可能である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事業計画の作成に参加したり、工程表に落とし込み、毎月のミーティングで進捗状況の確認をするなど、職員全体で取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を宇活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者面談と一緒にアンケートの説明と調査依頼を行っている。また、送迎時や連絡帳を通して相談を受け、移行やニーズの把握を行っている。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価は行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修に加え、年に1回職員全体での研修にも参加している。その他が外部研修に参加したり、法人内の児童事業所が集まり研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを活用し、保護者や関係機関と連携した上で個別支援計画書を作成している。定期的に評価・モニタリングを行い計画を見直している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内で共通のアセスメントシートを使用して標準化されたアセスメントが出来ている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月の初めに活動設定を考える時間を設け、チーム全体で取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動が固定化されたりマンネリ化しないように色々な情報を取り入れ工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			夏休み前の段階から細かなスケジュールを設定し取り組んでいる。事前準備も計画的に行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別のプログラムと小集団での活動プログラムに分けて提供することを計画書の内容にも記載し、実際の活動も提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間で支援内容や役割分担を確認し実行している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケアコラボ(電子記録システム)で共有している。また、支援に関する変更点や気づき、ヒヤリハットなど終業前に共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録については職員間、管理者も目を通し、正しい記録であるが相互に確認するようになっている。
関係機関 や保護者 との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上のモニタリングを保護者・関係機関も交えて行い、必要に応じて個別支援計画書の変更も行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った支援が出来るように活動を分類し、偏った活動提供にならないよう工夫を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員が必ず参加している。参加できない場合は、ケースの状況をまとめた資料を作成し、情報提供として渡すようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎日の送迎や細かな連絡調整を行い、密な連携をとることができている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前に関わっていた機関と連携することは少ない。新1年生の情報については、相談支援事業所等に情報提供を求めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて相談支援事業所と連携し、将来に関わる関係機関に保護者の同意を得た上で情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に事業所の指導を仰いだり、疑問点については研修を受ける中で解決することができている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	障がいのない児童との関りは少ない。公園利用の際などに、他の児童さんとの交流機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加することができおり、協議会の活動にも職員総出で参加することもある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ケアコラボ(電子記録システム)の家族公開や日々の送迎時を活用し、細目な連絡はできている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	子育ての相談などは常時受け付けており、対応の仕方などの助言を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			一人ひとりに対して丁寧に時間をかけて説明することができている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて相談を受けるとともに、場合によっては関係機関も交えての相談支援も行っている。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会は少ないので、もっと積極的にやっていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設定した上で誰にでも意見・相談・苦情を伝えやすい環境になるように努めている。苦情等があれば速やかに対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報はないが、ケアラボ(電子記録システム)の家族公開で、お子様の様子を見て頂けるようになり、情報発信できるようになった。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取扱いについての同意は得た上でも、必要に応じて毎度情報を共有する場合には、保護者の同意を得るようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			スケジュールボードや絵カードなどを用いて、児童にも合わせたコミュニケーションツールを活用している。障がいのある保護者には分かりやすく説明している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子ども食堂を開催したり、事業所を地域開放するなど、地域に開かれた場所となるよう工夫を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			重要事項説明書や契約時に丁寧に説明をし周知を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回以上は防災・防犯訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月虐待に関する振り返りを実施するとともに、年に1回は職員研修のテーマに挙げて取り組み、適切な対応・支援について意識の向上を図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			基本的に身体拘束は行わない。本人の命に係わることなど必要な場合は、保護者の同意を得た上で個別支援計画書に記載し実施することがある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在はアレルギーを持った児童はいないが、利用する際は、医師の指示に沿ったものを提供する。契約時に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の朝礼の際にヒヤリハットの確認を行っている。事例の共有についてもアプリに記録されており、適宜職員間で共有し改善を図っている。
		チェック項目項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等

令和4年2月14日公表